



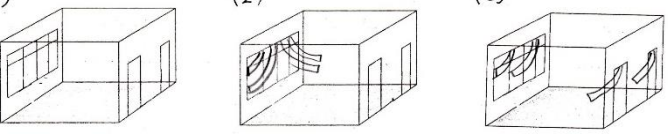








●学習指導プラン【小学校 第6学年 家庭科】

学習内容	暑い季節を快適に過ごすために、衣服による体温の調節の工夫や涼しく住まう工夫について、自らの生活経験や実験を通して自分なりの考えをもち、生活の中で実践する計画を立てる。(本時は、涼しく住まう工夫について考える。)			
ねらい	涼しく住まう工夫について、実験を通して考え、効率的なエネルギーの利用について自分なりの考えをもつことができる。			
段階	学習活動・内容	時間	○ 指導上の留意点 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>評価 (評価方法)</td></tr></table>	評価 (評価方法)
評価 (評価方法)				
問題把握	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>教室を涼しくするためにはどうしたらよいかを考えよう。</td> </tr> </table> <p>2 予想する。          ・窓を全て開ける。          ・出入口の戸や廊下の窓も開ける。</p> <p>3 実験方法を確認する。          ・窓や戸を片側だけ開けた場合          ・窓や戸を両方とも開けた場合</p>	教室を涼しくするためにはどうしたらよいかを考えよう。	15	<p>○ 教室の現在の温度と湿度を見童に知らせ、現在の状況が快適に過ごせる環境ではないことを確認する。(室温30℃以上の日に実施するのが好ましい。)</p> <p>○ 見童一人一人の生活経験を十分に引き出し、予想をネームプレート移動でまとめる。</p> <p>○ 実験の条件を確認し、グループごとに分担を決めて、教室の窓や戸などにすずらんテープを貼り、実験の準備を進める。</p>
教室を涼しくするためにはどうしたらよいかを考えよう。				
問題追究	<p>4 実験をする。</p> <p>(1) 窓や戸を片側だけ開けた場合          ・あまり涼しい感じがしない。          ・前の窓から入った空気が後ろの窓から抜けているのがすずらんテープの動きで分かる。</p> <p>(2) 窓や戸を両方とも開けた場合          ・風がよく通り抜け、涼しく感じる。          ・すずらんテープの動きが大きい。</p> <p>5 実験結果をもとに話し合う。          ・窓や戸を片側だけ開けた時は、あまり涼しく感じられず、温度も変わらなかったが、両方とも開けたらすぐに涼しさを感じ、気温も下がった。</p>	25	<p>○ 班ごとに温度計を渡しておき、窓や戸を閉めた状態での自分たちのいる場所の教室の温度を測らせておく。</p> <p>○ 実験時間は窓や戸を開けてから5分間とし、時間になったら温度の確認をさせる。また、それぞれの実験時のすずらんテープの動きや自分自身の感じ方の変化についてもワークシートに記録させるようにする。</p> <p>○ 班ごとの温度の測定結果やすずらんテープの動き、自分自身の感じ方の変化をもとに班ごとに意見をまとめてから、全体で話し合う。</p> <p>○ 教室内でも場所によって実際の温度や体感温度に違いがあること、風の通り道をつくることが大切であることに気づくことができるようにする。</p>	
まとめ	6 調べて分かったことや考えたことをワークシートにまとめる。	5	<p>○ 家庭での実践についても呼びかける。</p> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>涼しく住まう工夫について、実験を通して考え、効率的なエネルギーの利用について自分なりの考えをもつことができたか。(発言、ワークシート)</td> </tr> </table>	涼しく住まう工夫について、実験を通して考え、効率的なエネルギーの利用について自分なりの考えをもつことができたか。(発言、ワークシート)
涼しく住まう工夫について、実験を通して考え、効率的なエネルギーの利用について自分なりの考えをもつことができたか。(発言、ワークシート)				
作成推進校	いわき市立小名浜第一小学校			

# 平成28年度 第6学年 エネルギー教育実践記録

## 家庭科「暑い季節を快適に」 関連：省エネルギー

実施月	平成28年7月								
実践内容	涼しく住まう工夫について、実験を通して考え、効率的なエネルギーの利用について自分なりの考えをもつ。								
実践の様子	<p>○ 教室の窓や戸にすずらんテープを貼り、空気の動きとその時の温度を調べる。</p>  <p>○ 調べて分かったことや考えたことをまとめる。</p> <table border="1" data-bbox="363 1272 667 1686"> <thead> <tr> <th>条件</th> <th>温度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)  窓や戸をすべて閉めた場合</td> <td>29.5℃</td> </tr> <tr> <td>(2)  窓や戸を片側だけ開けた場合</td> <td>29.5℃</td> </tr> <tr> <td>(3)  窓や戸を両方とも開けた場合</td> <td>29℃</td> </tr> </tbody> </table> <p>窓には、たテープを見ると、川の通り道のように動いている。だから両側を開けたから涼しい。</p> 	条件	温度	(1)  窓や戸をすべて閉めた場合	29.5℃	(2)  窓や戸を片側だけ開けた場合	29.5℃	(3)  窓や戸を両方とも開けた場合	29℃
条件	温度								
(1)  窓や戸をすべて閉めた場合	29.5℃								
(2)  窓や戸を片側だけ開けた場合	29.5℃								
(3)  窓や戸を両方とも開けた場合	29℃								
実践を終えて	<p>○ 窓や戸を片側だけ開けた場合と、両方とも開けた場合を比べたことにより、温度や湿度を下げるためには、窓や戸を両方とも開けて、風の通り道をつくる必要があることに、実験を通して気付くことができた。目に見えない空気の流れを可視化することにより、実感を伴った理解につながったと思われる。</p> <p>○ 省エネルギー推進の観点を意識し、家庭での実践についても呼びかけた。</p> <p>※ 本実践については、教科書会社作成のワークシートを活用した。</p>								